



2013年6月12日
株式会社スカパーJSATホールディングス

通信衛星 JCSAT-14 の調達契約締結について
～アジア・太平洋地域における更なる展開をめざして～

株式会社スカパーJSATホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 真治）の100%子会社であるスカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）は、本日添付の通り通信衛星 JCSAT-14 の調達契約締結について発表しましたので、お知らせします。

以上



2013年6月12日
スカパーJSAT株式会社

通信衛星 JCSAT-14 の調達契約締結について ～アジア・太平洋地域における更なる展開をめざして～

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、通信衛星 JCSAT-14 の調達契約を Space Systems/Loral（本社：アメリカ合衆国、President：John Celli）と締結いたしましたのでお知らせします。

JCSAT-14 は、東経 154 度の静止軌道において運用中の JCSAT-2A 衛星の後継機で、Ku バンド及び C バンドのトランスポンダ（衛星中継器）を搭載します。Ku バンドについては、JCSAT-2A に搭載されている日本ビームに加え、新たにアジア・太平洋地域をカバーする国際ビームを搭載します。C バンドについては、26 本の高出力トランスポンダで国際回線の収容能力を大幅に増強し、JCSAT-2A ではアジア、オーストラリア及びニュージーランドが中心だったサービスエリアをロシアの可視範囲全域及び太平洋島嶼国にまで拡大します。

スカパーJSAT は、今後も日本における高品質な衛星通信サービスの提供に取り組むとともに、アジア・太平洋地域におけるグローバルビジネスの更なる展開を目指して参ります。

【参考】

1. 衛星バス	Space Systems/Loral 社製 SSL1300
2. 衛星の主要諸元	(1) 周波数：Ku バンド、C バンド (2) 衛星中継器：44 本（Ku バンド：18 本、C バンド：26 本） (3) カバレッジ： 日本全域（Ku バンド日本ビーム） アジア、オセアニア、ロシア、太平洋地域（国際ビーム） (4) 打ち上げ時期：2015 年（下期） (5) 寿命：15 年以上
3. 軌道位置	東経 154 度